

授業科目名 <英訳>	中国語学中国文学(特殊講義) Chinese Language and Literature (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 池田 巧				
配当学年	3回生以上	単位数	2	開講期	後期	曜時限	木1	授業形態	特殊講義
題目	中古音と唐代音 [ 2 ]								
【授業の概要・目的】									
<p>隋代に編纂された韻書《切韻》に記録された中古音は、唐代に入るとさまざまな変化を生じた。唐代音復元のための資料と方法を紹介しつつ、中国語音韻史の基礎的な知識と言語史研究の成果を学び、遣唐使が訪れた唐の長安で話されていた中国語の実像に迫りたい。</p>									
【授業計画と内容】									
<p>テーマは順不同、ひとつのトピックについて2～3回の授業を予定しているが、内容によっては回数に増減が生じる可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．授業の方針と計画について</li> <li>2．音義資料について</li> <li>3．慧琳音義の体系</li> <li>4．軽唇音化と脱鼻音化</li> <li>5．韻母の再編と韻尾の変化</li> <li>6．声調調値の変化</li> <li>7．漢訳の般若心経はどんな発音で読まれていたか</li> </ol>									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・基準】									
平常点：授業への取り組みと小レポート									
【教科書】									
使用しない									
【参考書等】									
<p>(参考書)</p> <p>大島正二 『唐代の人は唐詩をどう詠んだか』 (岩波書店) ISBN:978-4-00-024145-8</p>									
【その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)】									
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									